

授業科目名 <英訳>	インド古典学(特殊講義) Indological Studies(Special Lectures) (Special Lectures)	担当者氏名	人文科学研究所 教授 藤井 正人						
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	前期	曜時限	水5	授業形態	特殊講義
題目	サーマヴェーダ研究1 サンヒターとブラーフマナを中心に								
【授業の概要・目的】									
<p>古代インドの正統派祭式文献であるヴェーダは、祭官の職務に応じて四種に分かれて編纂・伝承されている。そのうち、祭場で歌われる歌詠（サーマン）を集めたものがサーマヴェーダである。サーマヴェーダの中心文献であるサンヒターおよびブラーフマナを取り上げ、ヴェーダ祭式歌詠の特徴とその変遷、およびそれらが最古のウパニシャッドの成立の背景となった思想史上の意義について考察する。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>サーマヴェーダには、多くの伝承地域をもつ有力学派であるカウトゥマ派（姉妹学派のラーナーヤニーヤ派を含む）と、南インドのタミル・ナードゥとケーララの2州のみに存続する希少学派であるジャイミニヤ派の二学派が現存している。授業では、まず両学派のサーマヴェーダ諸文献の構成・内容・研究の現状を概観した上で、特にサンヒターとブラーフマナについて両学派の特徴と差異とを考察する。さらに、ブラーフマナの具体的なサーマンを扱っている箇所を讀解して、ヴェーダ祭式歌詠について理解を深めるとともに、ブラーフマナの内容分析からヴェーダ祭式歌詠における歴史的な変化をたどる。サーマヴェーダは、歌詠という内容の特殊性からヴェーダの中でも特に研究が遅れていて、専門とする研究者もきわめて少ない分野である。本授業は、学ぶ機会の多くないサーマヴェーダに関して基礎的な知識を修得することも目的としている。</p>									
【履修要件】									
サンスクリット基礎文法の既習者									
【成績評価の方法・基準】									
平常点による。評価に関しては出席を重視し、理解度と積極性を加味する。									
【教科書】									
教材を授業時に配布する。									
【参考書等】									
（参考書） 授業中に紹介する									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									